

日本石炭協会保安部『炭鑛災害統計表』（昭和廿四年六月二十五日作製）

三輪, 宗弘
九州大学 : 教授

<https://doi.org/10.15017/4060493>

出版情報 : エネルギー史研究 : 石炭を中心として. 35, pp.59-66, 2020-03-25. 九州大学附属図書館付
設記録資料館産業経済資料部門
バージョン :
権利関係 :

【資料紹介】日本石炭協会保安部『炭鑛災害統計表』

(昭和廿四年六月二十五日作製)

三 輪 宗 弘

解題「炭鑛災害統計表」

国立国会図書館に所蔵されている『石炭情報』（日本石炭協会編、昭和二年）、九州大学の書架の『石炭情報』さらにはプランゲ文庫のマイクロフィルムに収められた『石炭情報』にも目を通したが、付録の『炭鑛災害統計表』は抜け落ち、見つからない。幸いなことに『炭鑛災害統計表』というタイトルで検索をかけたところ、京都大学経済資料センターに所蔵されていた。付録の統計表は一緒に綴られなかったり、併せて製本されなかったりすることがあるのだと思った。付録である『炭鑛災害統計表』は単独のものとして登録されたがゆえに残ったのだろう。古本屋のサイトに出っていたので、さっそく注文を入れ、九州大学附属図書館付設記録資料館の書架に並べることができた。

資料請求して『炭鑛災害統計表』が目の前に運ばれると、これが探し求めていた「付録か」と嬉しくなり浮き浮きしたのを思い出す。紙の枚数は表紙と裏表紙を入れて四枚で、六つの表で構成されている。

- 第一表 「昭和十一年以降全国炭鑛災害調」
- 第二表 「昭和二三年度月別全国炭鑛災害調」
- 第三表 「昭和十一年以降炭鑛事由別災害調」
- 第四表 「昭和二三年度事由別炭鑛災害状況調」
- 第五表 「瓦斯炭塵爆発原因別件数調」
- 第六表 「一九三五年以降アメリカ炭鑛災害調」

「就業者千人当り変災死亡者数」は国際比較によく用いられる、変災統計の代表的な指標である。このデータを使う際には、坑内だけなのか、坑内と坑外なのか、また職員も含んでいるのか、労働者だけなのかという点には、常に留意する必要がある。周知のように、坑外よりも坑内の事故率が高く、職員よりも労働者のほうが危険な作業に従事する以上職員数を含めば事故率は少し低めに出る。

厚見利作『石炭と炭砒』（大正二三年七月一日訂正増補四版）に「就業者千人当り変災死亡者数」が比較されているが、一九〇一年——一九九

一年は米国の三・七四人が第一位で、日本は二・九二人での第二位、以下独逸二・一一、仏国一・六九、英国一・三六である(二二二―二三頁)。明治三八(一九〇五)年より大正四(一九一五)年の統計では日本は三・九九人であった。「石炭採掘百万噸に対する変災死亡数」は日本が二二・七一で第一位であり、以下仏国七・七九、独逸七・五五、米五・八四、英四・四であった(一一三頁)。時代が下るが、同じ著書の厚見利作『非常時下石炭と炭鉱業』(昭和一七年二月)の変災統計によれば、下のような数値が掲げられている。

また、災害死亡原因別に数字を拾うと下記のようになる。全体的な災害死亡原因にはそれほど経年による変化はないであろうから参考にしていただきたい。厚見利作は「我が国にては近年百人以上の大爆発は少ないが、五十人以上の中爆発は可成り頻発して居る。」と、炭塵爆発が大惨事になる事実を指摘している。『非常時下石炭と炭鉱業』、二五二―二五五頁。

さて、第一表「昭和一一年以降全国炭鉱災害調」であるが、「一年千人当災害平均」であるが、坑内か坑外の区分は明示されていないが、「職員数を含まず」、「職員数を含む

本邦炭鉱変災災害死亡原因別 (1938年)

原因	死亡者数	パーセント
落盤	476	42
瓦斯炭塵爆発、発破	294	26
運搬	183	16
その他	116	10
坑外	68	6
合計	1137	100

出所『非常時下石炭と炭鉱業』、249頁。

日英米独各国炭鉱の就業者千人当変災死亡者数

年度	日本	米国(瀝青)	米国(無煙)	独逸	英国
1913-22	—	4.4	4.0	2.9	1.2
1922-32	3.4	4.8	3.9	2.2	1.0
1933	5.2	3	3.6	1.9	1.0

出所『非常時下石炭と炭鉱業』、248頁。

む」が年度によりバラついては留意すべきであろう。昭和一四年から二〇年の戦時中の死亡率は一〇〇〇人当たり三〇五人とみればいである。データはないが、大手炭鉱は相対的に低く、中小炭鉱は高いであろう。第三表「昭和一一年以降炭鉱事由別災害調」によれば、爆発の回数は少ないが、死亡割合は高い。「落盤」「運搬」は回数も多く、それに見合って死亡割合は高い。坑外と坑内の死亡者数に大きな開きがあることもわかる。九五対五から九〇対一〇の割合で坑内のほうが、死亡者数が多い。第五表「瓦斯炭塵爆発原因別件数調」であるが、「発破」「電気」の割合が高く、マッチ、喫煙、カンデラの火の出るものから爆発が引き起こされていることがうかがえる。第六表「一九三五年以降アメリカ炭鉱災害調」のアメリカの「一年千人当人数」は日本の五に対して二分の一に相当する二から三の間である。昭和二四年から「稼働延一〇〇万人当たり」「稼働延一〇〇万時間当たり」「出炭一〇〇万トン当たり」という鉱山災害率を用いられるようになった。鉱山(石炭)と工場(軽工業も含む)の災害率を比べると、昭和五年から昭和二一年では、千人当における死亡は一七倍、重傷は一五倍、軽傷は九倍である。(商工省鉱山保安部、『鉱山災害概況』、昭和二四年三月一二日)

さらに炭鉱の災害や保安について調べられたい方は、下記の二冊をまず手に取られたい。

札幌鉱山保安監督部編『改訂増補 炭鉱保安教本』(非売品、昭和二五年第二版)

中野實編著『鉱山保安学』(産業図書社、昭和二六年)

また「鉱山変災事故及鉱夫死傷病者」に関する年次単位の統計は下記がコンパクトにまとまっているので、参照されたい。

商工省鉦山局編纂『本邦鉦業ノ趨勢』（各年度）
九州炭鉦保安技術審議會編『鉦山保安法施行20周年記念 鉦山保安
要覽』（非売品、昭和四四年）

付記

明らかな誤りや不自然な表記は適宜訂正して、掲載した。旧字体は現代仮名遣いに改めた。註の位置を入れ替え、縦書きを横書きにして示した。

昭和廿四年六月二十五日作製

炭 鑛 災 害 統 計 表

日 本 石 炭 協 會 保 安 部

第一表 昭和11年以降全国炭鉱災害調査

種別	年平均在籍者数	年間出炭高	災害回数	罹災者数		一年千人當災害平均		百萬噸當災害平均				
				死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷			
昭和11年	198,346	41,802,711	61,207	1,051	60,963	5.3	307	313	1,464	25	1,458	1,483
昭和12年	222,696	45,257,877	66,086	884	66,283	4.0	298	302	1,460	20	1,465	1,484
昭和13年	263,632	48,683,689	68,874	1,165	69,178	4.4	262	267	1,415	24	1,421	1,445
昭和14年	293,019	52,408,541	75,770	1,226	78,061	4.2	266	271	1,446	23	1,489	1,513
昭和15年	333,997	57,318,222	83,910	1,357	82,082	4.0	244	248	1,464	24	1,431	1,456
昭和16年	351,737	55,602,334	84,308	1,582	83,765	4.5	238	243	1,516	28	1,507	1,535
昭和17年	387,757	54,178,544	84,189	1,488	84,229	3.8	217	221	1,554	27	1,555	1,582
昭和18年	409,705	55,538,802	88,135	1,670	85,777	4.0	209	211	1,587	30	1,544	1,577
昭和19年	403,477	49,335,008	56,031	1,966	98,728	4.9	245	250	1,136	40	2,001	2,041
昭和20年	310,716	22,334,538	48,723	1,079	48,980	3.5	158	161	2,182	48	2,193	2,241
昭和21年	340,987	22,523,336	61,360	922	61,502	2.7	180	183	2,724	41	2,731	2,772
昭和22年	451,261	29,335,446	92,693	816	93,079	1.8	206	208	3,160	28	3,173	3,201
昭和23年	502,397	34,793,004	143,769	860	144,409	1.7	287	289	4,132	25	4,151	4,175

(注) 1. 昭和15年以前は暦年、昭和16年以降は会計年度なり。2. 従業員数は昭和12年迄は6月末調べあり職員数を含まず、昭和13年より15年迄が6月末調べあり職員数を含まず。昭和16年より21年迄は年平均であり職員数を含む。昭和22年23年は年平均及び上期平均であり職員数を含む。昭和13年より15年迄職員数を含まず。昭和16年より23年は職員数を含む。4. 資源庁鉱山保安局資料による

第二表 昭和23年度月別全国炭鉱災害調査

種別	月平均在籍者数	月間出炭高	災害回数	罹災者数		一月千人當災害平均		百萬噸當災害平均				
				死亡	負傷	死亡	負傷	死亡	負傷			
4月	499,267	2,572,404	10,361	57	10,333	0.11	20.69	20.81	4,028	22	4,017	4,039
5月	504,678	2,634,806	10,701	67	10,767	0.13	21.33	21.47	4,061	25	4,086	4,112
6月	503,828	2,791,499	11,156	148	11,189	0.29	22.21	22.50	3,996	53	4,008	4,061
7月	500,874	2,717,593	10,567	54	10,960	0.12	21.24	21.35	3,888	26	3,915	3,934
8月	501,765	2,530,699	10,874	67	10,647	0.13	21.86	21.99	4,297	26	4,334	4,360
9月	503,361	2,975,699	12,663	85	12,767	0.17	25.36	25.53	4,403	30	4,440	4,469
上期計	502,296	16,122,700	66,322	478	66,663	0.96	132.72	133.67	4,114	30	4,135	4,164
10月	502,585	2,989,563	13,061	59	13,120	0.11	26.07	26.22	4,369	20	4,389	4,408
11月	497,637	3,191,980	11,707	67	11,814	0.13	23.74	23.87	3,978	23	4,014	4,037
12月	510,066	3,191,190	12,662	72	12,595	0.14	24.69	24.83	3,968	23	3,947	3,969
1月	507,965	2,946,713	12,104	56	12,156	0.11	23.93	24.04	4,108	19	4,125	4,144
2月	498,868	3,028,374	12,687	62	12,842	0.12	25.74	25.87	4,189	20	4,241	4,261
3月	497,878	3,571,484	15,226	66	15,219	0.13	30.57	30.70	4,263	18	4,261	4,280
下期計	502,498	18,670,304	77,447	382	77,746	0.76	154.72	155.48	4,148	20	4,164	4,185
年計	502,397	34,793,004	143,769	860	144,409	1.71	287.44	289.15	4,132	25	4,151	4,175

(注) 資源庁鉱山保安局資料による

第三表 昭和11年以降炭鉱事由別災害調

年別	昭和11年		昭和12年		昭和13年		昭和14年		昭和15年		昭和16年		昭和17年											
	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡										
種別	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡										
事由別	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%										
爆発	30	153	128	25	60	52	21	276	95	42	242	251	52	130	96	49	265	185	39	127	128			
	0.05	14.6	0.2	0.04	6.8	0.08	0.03	23.7	0.1	0.03	19.7	0.3	0.06	9.6	0.1	0.06	16.8	0.2	0.05	8.5	0.15			
落盤	24,793	501	24,293	26,575	487	26,423	25,927	481	26,316	29,405	520	29,824	32,952	682	32,578	33,221	789	32,631	33,014	777	32,845			
	40.1	47.7	39.9	40.2	55.1	39.8	37.6	41.3	38.1	38.9	42.4	38.2	39.3	50.2	39.7	39.4	49.9	39.0	39.2	52.2	39.0			
坑内	3	3	4	3	3	27	8	23	12	12	15	12	4	40	3	13	34	28	0	0	0			
出水	0.01	0.3	0.01	0.01	0.3	0.04	0.01	2.0	0.02	0.01	1.2	0.02	0	2.9	0	0.02	2.1	0.03	0	0	0			
運搬	9,388	230	9,243	9,972	171	10,333	11,379	188	11,249	11,695	237	12,899	14,593	278	11,936	14,053	267	13,884	14,360	271	14,429			
	15.3	21.8	15.2	15.1	19.4	15.6	16.5	16.1	16.5	15.4	19.4	16.5	17.4	20.5	14.5	16.7	16.9	16.6	17.1	18.2	17.1			
その他	21,799	118	21,809	23,040	101	23,021	23,856	129	23,879	26,477	137	26,894	27,572	170	28,699	28,186	152	28,366	27,423	221	27,525			
	35.6	11.3	35.8	34.9	11.4	34.8	34.6	11.1	34.5	34.9	11.2	34.5	32.8	12.5	35.0	33.4	9.6	33.8	32.6	14.8	32.7			
坑外計	5,514	46	5,486	6,471	62	6,427	7,681	68	7,627	8,175	75	8,179	8,737	57	8,770	8,786	75	8,671	9,323	92	9,320			
	9.0	4.3	8.9	9.8	7.0	9.7	11.2	5.8	11.0	10.8	6.1	10.5	10.4	4.3	10.7	10.4	4.7	10.4	11.0	6.3	11.0			
合計	61,207	1,051	60,963	66,086	884	66,283	68,874	1,165	99,178	75,770	1,226	78,061	83,910	1,357	82,082	84,308	1,582	83,765	84,189	1,488	84,247			
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
年別	昭和18年				昭和19年				昭和20年				昭和21年				昭和22年				昭和23年			
種別	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡		
事由別	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
爆発	41	259	133	50	267	282	30	97	82	15	40	121	19	27	89	26	93	81						
	0.05	15.5	0.2	0.1	13.6	0.5	0.06	9.2	0.2	0.02	4.3	0.2	0.02	3.3	0.01	0.02	10.8	0.06						
落盤	34,844	809	33,683	21,722	950	38,459	18,343	520	18,261	20,991	419	21,267	30,603	367	30,669	43,950	378	44,023						
	39.5	48.4	39.3	38.7	43.3	38.9	37.8	48.0	37.2	34.2	45.4	34.6	33.0	45.0	32.9	30.6	44.0	30.5						
坑内	0	0	0	0	0	0	10	2	8	19	3	16	16	9	12	52	5	52						
出水	0	0	0	0	0	0	0.02	0.2	0.02	0.03	0.3	0.03	0.02	1.1	0.01	0.04	0.6	0.04						
運搬	15,499	339	14,923	10,903	372	17,406	3,695	136	3,725	2,327	90	2,317	13,869	177	13,864	19,333	159	19,439						
	17.6	20.2	17.4	19.5	18.9	17.6	7.4	12.6	7.6	3.8	9.8	3.8	15.0	21.7	14.9	13.4	18.5	13.5						
その他	27,803	197	26,093	16,462	274	30,106	19,011	253	19,180	28,158	267	28,279	35,608	155	35,714	62,605	123	63,000						
	31.6	11.8	30.4	29.4	13.9	30.4	39.2	23.5	39.2	45.8	29.8	45.9	38.4	19.0	38.4	43.5	14.3	43.6						
坑外計	9,948	66	10,947	6,894	5.2	12,475	7,630	71	7,724	9,850	103	9,502	12,575	81	12,731	17,803	102	17,814						
	11.3	4.0	12.7	12.3	1.26	15.5	6.5	15.8	16.1	11.2	15.5	13.6	9.9	13.7	12.4	11.9	12.3							
合計	88,135	1,670	85,779	56,031	1,966	98,728	48,723	1,079	48,980	61,360	922	61,502	92,693	816	93,079	143,769	860	144,409						
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100						

(註) 一、昭和十三年以前は歴年十四年以降は会計年度なり
 二、鉱業警察規則による災害死者月報によりとる
 三、資源庁鉱山保版局資料による

第四表 昭和23年度事由別炭鉱災害状況調

月別	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月													
	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡												
種別	回数	死亡	回数 <td>死亡</td> <td>回数</td> <td>死亡</td> <td>回数</td> <td>死亡</td> <td>回数</td> <td>死亡</td> <td>回数</td> <td>死亡</td> <td>回数</td> <td>死亡</td>	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡												
事由別	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%												
坑内	爆発	4	4	0	5	2	0	0	0	2	2	8	7	11												
		0.04	7.0	0.04	0.01	0	0.05	0.02	0	0.02	3.0	0.05	0.06	8.2												
		3.231	29	3.210	3.239	34	3.269	3.429	3.406	3.208	23	3.244	3.350	29												
	落盤	31.2	50.9	31.1	30.3	50.7	30.4	30.7	30.4	30.4	42.6	30.5	30.8	41.8												
		31.2	50.9	31.1	30.3	50.7	30.4	30.7	30.4	30.4	42.6	30.5	30.8	41.8												
	出水	2	0	2	0	0	1	3	1	2	0	0	3	1												
		0.02	0	0.02	0	0	0.01	0.03	0.01	0.03	1.9	13.1	0	0.02												
	運搬	1.522	14	1.516	1.499	15	1.490	1.513	15	1.502	1.391	16	1.394	1.400												
		14.7	24.6	14.7	14.0	22.4	13.8	13.6	10.1	13.4	13.2	29.6	13.1	12.9												
	その他	4.316	5	4.319	4.631	11	4.666	4.849	8	4.629	4.603	8	4.629	4.724												
		41.7	8.8	41.8	43.3	16.4	43.3	43.5	13.5	47.3	43.6	14.8	43.5	17.9												
	坑外計	1.286	5	1.282	1.331	7	1.337	1.362	6	1.378	1.362	6	1.371	1.398												
		12.4	8.8	12.4	12.4	10.4	12.4	12.2	1.4	12.3	12.9	11.1	12.9	16.4												
	合計	10.361	57	10.333	10.701	67	10.767	11.156	148	11.189	10.567	54	10.640	10.874												
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100												
月別	11月				12月				1月				2月				3月				計					
種別	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡	回数	死亡
事由別	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
坑内	爆発	3	2	9	2	0	3	1	1	18	3	3	9	0	0	0	0	0	0	0	26	93	81			
		0.02	3.0	0.08	0.01	0	0.02	0.01	1.8	0.15	0.02	4.8	0.07	0	0	0	0.02	10.8	0.06							
		3.706	38	3.712	3.837	29	3.831	3.532	32	3.544	3.782	31	3.788	4.659	31	4.669	43.950	37.8	44.023							
	落盤	31.7	56.7	31.4	30.3	40.3	30.4	29.2	57.1	29.2	29.8	50.0	29.5	30.6	47.0	30.7	30.6	44.0	30.5							
		1	0	1	14	0	14	1	0	2	5	0	5	21	3	22	52	5	52							
	出水	0.01	0	0.01	0.11	0	0.11	0.01	0	0.02	0.04	0	0.04	0.01	4.5	0.01	0.04	0.6	0.04							
	運搬	1.476	15	1.482	1.689	12	1.724	1.738	9	1.744	1.686	12	1.696	2.065	7	2.080	19.333	15.9	19.439							
		12.6	22.4	12.5	13.3	16.6	13.7	1.44	1.61	14.3	13.3	19.4	13.2	13.6	10.6	13.7	13.4	18.5	13.5							
	その他	5.073	6	5.155	5.471	13	5.376	5.318	7	5.332	5.715	9	5.843	6.769	13	6.693	62.605	123	63.000							
		43.3	9.0	43.6	43.2	18.1	43.5	43.9	12.5	43.9	45.0	14.5	45.5	44.5	19.7	44.0	43.5	14.3	43.6							
坑外計	1.448	6	1.455	1.949	18	1.547	1.514	7	1.516	1.496	7	1.501	1.712	12	1.755	17.803	102	17.814								
	12.4	9.0	12.3	13.0	25.0	12.3	12.5	12.5	12.5	11.8	11.3	11.7	11.2	18.2	11.5	12.4	11.9	12.3								
合計	11.707	67	11.814	12.662	72	12.595	12.104	56	12.156	12.687	62	12.842	15.226	66	15.219	143.769	860	144.409								
	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100								

(註) 資源庁鉱山保安局資料による

第五表 瓦斯炭塵爆発原因別件数調

年別	原因別	裸火 (カンテラ)	マッチ或 は喫煙	揮発油安全灯	キャップランプ	自然発火 坑内火災	発破	電気	不明	其ノ他	計
地方別	昭和16年	4	6	—	—	—	3	3			16
九州地方	昭和17年	4	—	1	—	—	5	1	2		13
	昭和18年	3	2	1	—	—	1	11	1		19
	昭和19年	2	1	1	—	—	5	12	3	1	25
	昭和20年	—	1	1	—	—	3	6			11
	昭和21年	1	—	1	1	1	2	3		1	9
	昭和22年	—	1	—	—	—	1	3		1	7
	昭和23年										
	計	14	11	5	1	1	20	39	6	3	100
	総件数に 対する %	14	11	5	1	1	20	39	6	3	100
北海道地方	昭和16年	—	2	—	—	—	5	1	1	—	9
	昭和17年	—	4	1	—	—	9	4	—	—	18
	昭和18年	—	3	3	—	—	5	5	—	—	16
	昭和19年	—	4	4	1	1	5	1	—	—	16
	昭和20年	—	2	—	1	1	3	3	—	—	9
	昭和21年	—	—	—	—	—	3	1	—	—	4
	昭和22年	—	1	—	—	—	2	—	—	1	5
	昭和23年										
	計		16	8	2	2	32	15	1	1	77
総件数に 対する %		21	10	2.5	2.5	42	20	1	1	100	
常盤地方	昭和16年	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2
	昭和17年	—	1	—	—	—	2	—	—	—	3
	昭和18年	2	—	—	—	—	—	1	—	—	1
	昭和19年	—	1	—	—	—	2	—	—	—	5
	昭和20年	—	2	—	—	—	1	—	—	—	3
	昭和21年	—	1	1	—	—	2	—	—	—	4
	昭和22年	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
	昭和23年										
	計	2	6	1			9	1			19
総件数に 対する %	10	32	5			48	5			100	

(註) 資源庁鉱山保安局資料による

第六表 1935年以降アメリカ炭鉱災害調

年度	年平均従業員数	年間出炭量	罹災者数		一年千人當人数		百萬噸當人数	
			死者数	負傷者数	死者	傷者	死者	傷者
1935	565,202	424,532,000	1,242	65,575	2.20	116	2.92	155
1936	584,582	493,668,000	1,342	69,576	2.28	119	2.72	140
1937	589,856	497,387,000	1,413	68,277	2.40	115	2.84	137
1938	541,528	394,644,000	1,105	51,341	2.04	94	2.80	130
1939	539,375	446,342,000	1,078	54,015	1.99	100	2.41	121
1940	533,267	512,257,000	1,388	59,781	2.60	112	2.70	116
1941	546,692	570,518,000	1,266	63,465	2.32	116	2.21	111
1942	530,861	643,021,000	1,417	69,564	2.27	131	2.30	108
1943	486,496	650,821,000	1,451	54,594	2.99	132	2.23	99
1944	457,500	681,576,000	1,294	65,900	2.82	144	1.89	97
1945	437,000	632,291,000	1,079	59,350	2.47	136	1.71	94
1946	457,500	592,282,000	974	56,800	2.13	124	1.64	96
1947	469,000	619,000,000 (予想)	1,165	58,200	2.44	124	1.72	86
1948		(651,052,000)	(1,015)	(54,100)				

(註) 1. 資源庁鉱山保安局資料による
2. 1948年は概数を示す